

鹿児島純心女子短期大学との田植え

6月15日田代川原猪鹿倉地区で、鹿児島純心女子短期大学と包括的連携協定事業の第1弾として、もち米の田植えをしました。

今後収穫したもち米「純心米」をもとに、商品を共同開発し、各種イベント等で出品していく予定です。

当日は、錦江町役場青年女性部の皆さんが、歓迎のセレモニーとして田んぼの中で、寸劇を演じられ、大いに盛り上がりました。

猪鹿倉自治会の方から、田植えの説明を受け、約500平方メートルの田んぼを総勢約50人で植え付けをしました。

田んぼに入る際、学生からは、「冷たい」「ヌルヌルする」と歓声をあげ、楽しみながら植え付け体験をしました。

参加した学生達は、「早く収穫して、商品開発を進めていきたい」と意気込みを語ってくれました。

昼食は、花瀬でんじろう館で、地元の食材を使った竹皮弁当を食べ、錦江町を堪能しました。



【田んぼでの寸劇は名演技が披露されました。】



【猪鹿倉自治会の皆さんの手伝いもあり、効率良く植える事ができました。】



【田植えの説明を真剣に聞く学生】



【後半になると学生も植え付けが慣れてきました。】



【恐る恐る田んぼに入る学生】



【全員で「はさんじゃうぞ！」で記念撮影】

このコーナーでは、皆様から寄せられた、面白い話、エピソードを紹介していきますので、皆様の投稿をお待ちしています。

【連絡先】錦江町企画課
Tel 0994-22-3032

交通規制に協力いただいたおじさんに感謝を述べ道中を見送ると、そのアシスト付き自転車は軽々と急坂を登り、なんと先程通過した最終選手を追い越しながら、Nさんの視界から消えて行った。

おじさんではないか。トップ集団との接触事故を恐れたNさんは慌てておじさんを停めて路側帯に待避させ、トップ選手から最終選手まで無事に難所を通過することができた。

アシスト付き自転車に乗った年配のおじさんではないか。トップ集団との接触事故を恐れたNさんは慌てておじさんを停めて路側帯に待避させ、トップ選手から最終選手まで無事に難所を通過することができた。

役場企画課のNさんは、スタート直後の急な登り坂で選手の通過を待ち構えていた。歓声の中、先頭集団から抜け出している選手が目飛び込んできた、しかし何かがおかしい…。よく見ると先頭は参加選手ではなくアシスト付き自転車に乗った年配のおじさんではないか。

■ヒルクライムの奇跡



【白ちよこ】